

Miyagi Prefecture News

みやぎ

県政だより



みやぎ元気人 読み聞かせボランティアグループ「おはなしポケット」(栗駒町)

特集 小学校1・2年生の35人学級 ～よりきめ細かな指導のために～

新企画
みやぎ
古道点景
「絹の道」丸森町筆甫

MAY.2004

毎月1日発行
平成16年5月1日
第410号

第20回

卷之三

卷之三

200

卷之三

この「みやぎ県政だより」は、約90万部制作
1部当たりの経費(印刷・発送)は約20円です

この「みやぎ県政だより」は、約90万部制作し、1部当たりの経費(印刷・発送)は約20円です。

この「みやぎ県政だより」は、約90万部制作し、
1部当たりの経費（印刷・発送）は約20円です。

 PRINTED WITH
SOY INK™
soil born® is a registered trademark of American Soybean Association

みやぎ県政だより 16

16

助走

「ともだち百人できるかな。」

私が入学した仙台市立木町通小学校の1年4組の同級生は、60人を超えていました。学校全体で、1800人を超える生徒だったと記憶しています。昭和29年4月、「戦後」という言葉が、まだ実感をもって受け止められる時代でした。

昭和23年生まれの私たちはベビーブーム世代と呼ばれ、同年代の人数が多いことで知られています。小学校の出発の時から、教室と校舎の過密状態がついて回りました。雨漏りがする校舎から新校舎に移った時は、とてもうれしかったものでした。その「新校舎」も今はなく、地上6階建ての素晴らしい校舎が威容を誇っています。

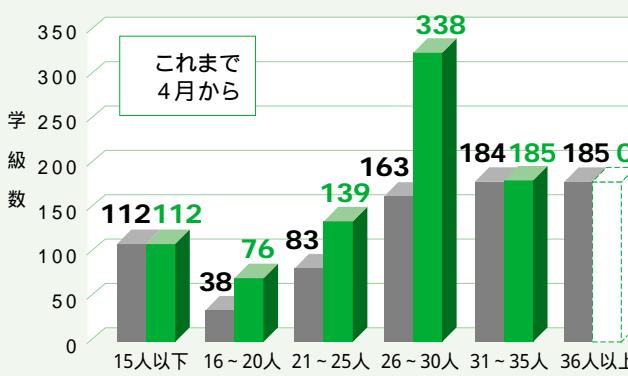
1年4組の担任は堀籠綾子先生。一人で体育、音楽を含め、全科目担当です。乳臭さが残る60人の生徒を教えるのですから、その大変さはいかばかりだったでしょう。そんな先生に、あまり迷惑をかけてはいけないと幼心に思ったのかどうか、クラスのみんなは先生の言うことをよく聞く、いい生徒だったような気がしています。

時代が移り、教育についての考え方も変わりました。一人ひとりの生徒に、しっかり目が届くように、宮城県内の小学1、2年生については、1クラス35人以下のサイズになります。個性が輝く、さまざまな性様の生徒が、クラスの中でお互いに濃密に関わり合いながら育っていくことが期待されます。

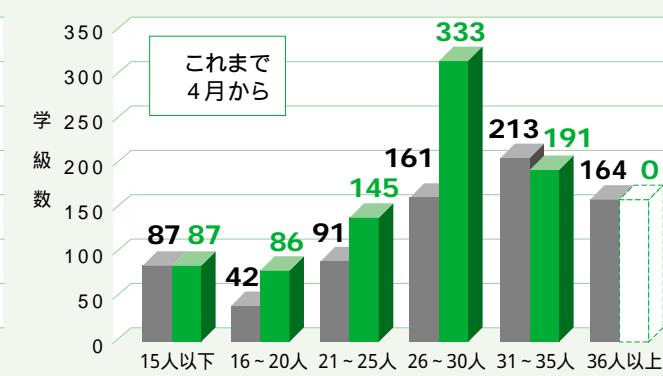
1年生になったら、ともだち百人できるかな。百人どころでない、もっと多くの一生ものの財産を手にすることができるたら、なんと素晴らしいことでしょう。

宮城県知事 浅野史郎

1年生の学級規模



2年生の学級規模



期待できる教育効果

各学校での取り組み

少人数学級の取り組みは、学習指導の面、学級づくりの面、それぞれで効果が期待されています。例えば、子どもにとって「丁寧に教えてもらえるので勉強がわかりやすくなる」、「先生からより多く声をかけてもらえるので学校が楽しくなる」といった効果が期待されています。

また、先生にとっては、学習などにつまづいてしまう子どもへよりきめ細かく対応できたり、一人の子どもに接する時間がより多くなりるとこられた効果など待されています。

少人数学級が実施されました。そして百六十九人の先生が新たに講師として配置されました。昨年度の段階で県内の小学校1・2年生ではすでに八割が三十五人以下の学級編成になっていました。今回の取り組みにより、残りの一割の三十六人以上の学級がすべて解消されました。

各学校では、一学級当たりの人数が少なくなりた分、一人ひとりの子どもにより目が行き届きやすくなるといった利点を生かし、これまで以上に子どもの学習の様子や、理解度、定着度に応じて授業を進めています。

少人数学級の導入によって生じた

読み方・ノートの整理の仕方・話し合いでの仕方などを個別に指導したり、繰り返し指導したりするなど、勉強の仕方にしても十分に対応することができます。

また、少人数学級の導入によって生じた

教室内の空間的な余裕を生かし、作業や実験などの体験的な活動を取り入れたりするなど、子どもの学習意欲の向上を図ります。

さらに、先生と子ども一人ひとりが向き合う時間が多くの分、先生が子どもをより理解できるようになるとともに、子どもと先生との相互の理解も深まるようになります。このような温かい人間関係の中での学級づくりを進めていきたいと考えています。

特集 小学校1・2年生の35人学級

～よりきめ細かな指導のために～

四月から県内の公立小学校1・2年生で、三十五人以下の、いわゆる「少人数学級」がスタートしました。今月は、その少人数学級のねらいや学校での取り組みなどについてご紹介します。

大きな環境の変化

小学校入学と同時に子どもたちを取り巻く環境は、それまでの幼稚園や保育所などでの比較的自由な生活から、学習を中心とした集団生活へと一変します。この環境の変化で、抵抗感や違和感を強く感じてくる子どもも少なくあります。

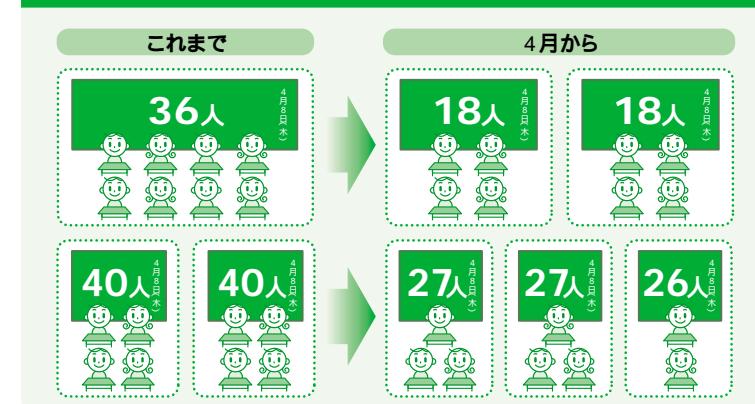
子どもたちが、大きな環境の変化に慣れ、学校生活に適応していくために、一人ひとりの子どもの個人差に対応しながら、学習面や生活面でのよりきめ細かな指導が必要となります。

具体的には、県内すべての公立小学校で、そのために必要となる先生を配置してます。低学年（一年生および二年生）においては、学級当たり三十五人以下の編成にしました。また、そのために必要な先生を該当する各学校に配置してます。

少人数学級のねらい

このようにこれからよりきめ細かな指導を進め、その後の学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣をきちんと身に付けていくことが少人数学級を導入するねらいです。

公立小学校1・2年生はすべて35人以下の学級に



大会スローガン「とっておき 技とハートにひとめぼれ」

第27回全国障害者技能競技大会

アビリシングピックみやぎ2004



大会キャラクター
「テクみちゃん」

優れた技能を持つ障害者の皆さん
全国から集まり、日々培った技を競う
「アビリシングピックみやぎ2004」がいよいよ
今年十月開催されます。

大会当日は競技と併せてさまざまな
イベントを開催します。ぜひご来場ください。(すべて入場無料です)

施設では、パンづくりとパンの販売を
担当しています。お客様の笑顔を見
ることができたり、おじいさんと一緒に
方が楽しいです。

昨年の県大会では、優勝するとは思
ていませんでした。やはり、競技のとき
はとても緊張します。いつも姿勢や服
装に気を付けて、競技に臨んでいます。
今年の大会では、大きな声を出せるよ
うに気を付けたいと思っています

本番に向けて

開催まであと五ヶ月

松島町・知的障害者通所授産施設「松島の実」の浅野美香さんは、昨年の県大会で接客技術を競う喫茶サービス部門で優勝を果たしました。今年の県大会、そしてアビリシングピックみやぎ2004に向けて日々練習を積んでいます。



さわやかな笑顔で接客する浅野さん(右)

第八回障害者技能競技みやぎ大会参加者募集

「アビリシングピックみやぎ2004」の県予選会を兼ねた「第八回障害者技能競技みやぎ大会」の参加者を募集しています。まだ見学は自由です。ぜひご来場ください。

期日=六月二十日(日)

会場=宮城障害者職業能力開発校、県立仙台高等技術専門校ほか

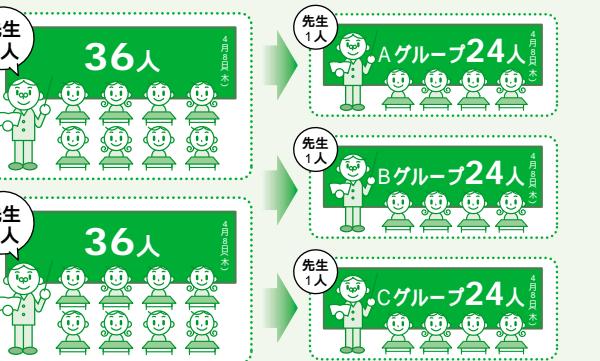
実施競技職種=「アビリシングピックみやぎ2004」と同じ
お問い合わせ=産業人材育成課
FAX 022(2111)2763

お問い合わせ
アビリシングピック推進室
022(2111)2761

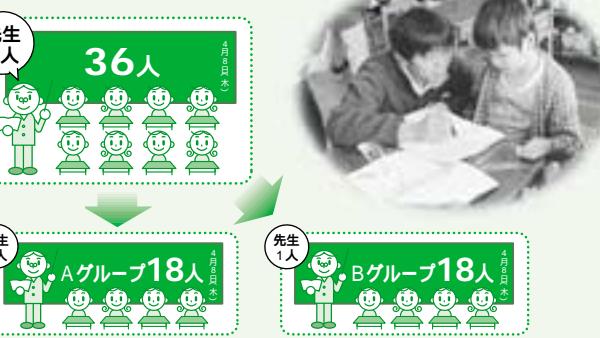
<http://www.pref.miyagi.jp/abilypic/>

効果的な少人数指導の例

2つの学級を、課題別や習熟度別等の3つの学習グループに分けた授業ができます。



1つの学級を、課題別や習熟度別等の2つの学習グループに分けた授業ができます。



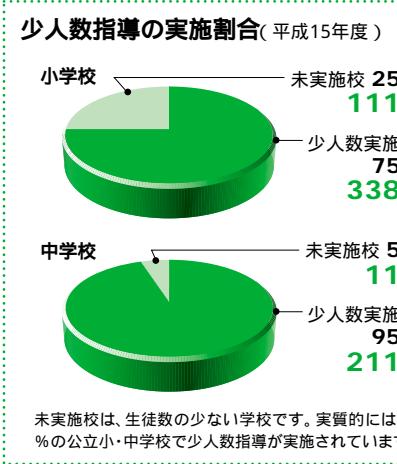
少人数指導とは、学習内容の理解に個人差が出やすい教科の時間などで、一定程度の少人数の学習集団を作り指導を行うものです。

学習内容が増加する小学生三年生以降は、一年生での少人数学級による學習面や生活面での基礎や基本の定着という成果を踏まえ、特に學習面で効果のある少人数指導を柱に、学力の向上を図っていきます。

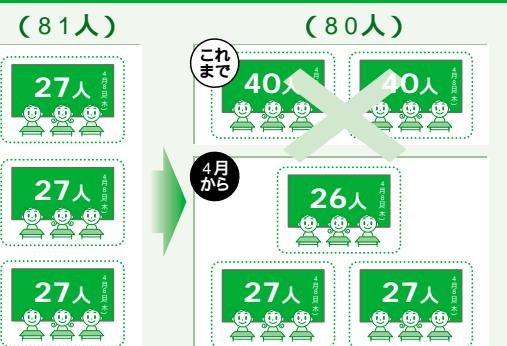
県内のほとんどの学校で取り組んでおり、小学校では国語・算数・理科、中学校では数学・理科・英語を中心とした学習で導や課題別学習、個別指導などの形で行われています。

今回の少人数学級の取り組みは、主に小学校低学年を対象とするものですが、一部で中学校を対象とした取り組みも行っています。

「これは」進学などを行っている中学校三年生で、落ち着いた學習環境を確保するため、一年生から三年生への進級時点で学級が減ってしまう場合、一年生の時の学級数をそのまま維持しようとすると、今年四月では、一つの中学校が対象となり、きめ細かな進路指導の対応などが期待されています。



中学2年生(1人減ると)



これまで転校等で生徒数が80人になれば国の標準の40人編成で2つの学級になっていたものを4月からは3学級を維持することになります。

お問い合わせ
義務教育課
022(2111)3642
<http://www.pref.miyagi.jp/gikyou/>

きめ細かな指導のために

上の効果はもちろんのこと、その推進に必要な先生を確保するところでも新たな雇用の拡大を図ることも大切なひとつとなっています。このため、今回の取り組みは、県が平成十七年度まで実施する緊急経済産業再生戦略一つとして実施されています。

各学校では校内研修を行ななど取り組みを見ながら、指導を行なっています。次代を担う子どもたち一人ひとりに心じたきめ細かな指導を進め、學習面や生活面での基礎や基本の着実な定着を図る。とする少人数学級の取り組みについて、学校での取り組みはもちろんなど、家庭での学習習慣の定着を保護者へ呼びかけるなど、今後も学校と家庭が一体となつた取り組みを進めていくとしています。

學習習慣と生活習慣の一層の定着を図るといった少人数学級の目的達成に向け、各学校では校内研修を行ななど取り組みの充実を図っています。

また、県教育委員会でも、各学校の取り組みを見ながら、指導を行なっています。

県財政を厳しさを増す

県では、毎年度当初予算編成後に、中期的な財政見通しを作成し、中期的視点に立った財政運営を進めています。地方財政制度が大きく変化する中、平成十六年度当初予算を踏まえた今後五年間の県財政の中期的な見通しをお知らせします。

深刻な財源不足

今後の年間経済成長率を〇・五パーセントと設定し、県財政を試算した場合、税収の増加を期待したとしても、地方交付税などの縮減が見込まれる」とから、平成十七年度以降の財源不足額は大幅に拡大する見込みです。このため、県の貯金にあたる財政調整基金などの基金を全額取り崩しても、平成十八年度には累積財源不足が四百四億円に達すると見込まれています。

経済情勢の先行きや、国から地方へ

の税源移譲、国庫補助負担金の削減、地方交付税の見直しを同時に進める「三位一体改革」の推移によっては、見通しよりさらに厳しい財政状況を迎えることも予測されます。

したがって、国が地方財政措置の充実を図ることを強く求めていますが、平成十三年度に策定した財政再建推進プログラムの着実な推進に加えて、歳出構造改革による財政健全化へ向けた取り組みをさらに強力に推進していきます。

県では、今後も、地域経済の再生と財政の健全化に努めていますので、県民の皆さんのご理解と協力をお願いします。

お問い合わせ
財政課
☎ 022(211)2315
http://www.pref.miyagi.jp/zaisei/
財政状況について、ホームページでもご覧いただけます。

障害者を雇用しながら、事業展開する方を募集

障害のある方が「地域で安心して自分らしい生活を送る」にはまだ、さまざまな問題があります。その一つに障害者の雇用・就労があります。働く意欲がありながら、障害があるというだけで働くことができない障害者の方がたくさんいます。その方たちのための働く場を、新たにつくってみませんか。

県では新たな障害者の就労の場を提供しながら、開業する意志をもった方からの事業計画を公募し、その中から、障害者の雇用を促進する新たな取り組みとしてふさわしい計画を、知事が認定します。認定を受けた方には、補助金を交付するなど開業に向けた支援を行います。

応募できる方

応募時から6ヶ月以内に事業主の都合で障害者を解雇したことがない個人、法人、NPO法人など（他の条件もあり）。

事業計画の条件

営業開始が平成17年1月末までに見込み、新たに開業する事業所において、従業員の半数以上（最低3人）の障害者を雇い入れることなど（他の条件もあり）。

募集期間

平成16年5月17日（月）から6月25日（金）まで。

詳しくは当課のホームページをご覧ください。

お問い合わせ

労政・雇用対策課

☎ 022(211)2772

http://www.pref.miyagi.jp/rouko/

IT分野で働く意欲のある人を募集します！

県では、企業で即戦力として活躍したいと考えている皆さんの就職を応援するため、「宮城県IT技術者養成・就労支援コース（データベース）」の訓練生を募集します。職業訓練と並行して就労支援も行い、就職に結びつくように支援していきます。



対象 = 県内在住で、IT基礎知識のある求職中の方

訓練期間 = 6月21日（月）～11月中旬

場所 = NAViS（仙台ソフトウェアセンター）など

募集期限 = 5月20日（木）まで

定員 = 20人

自己負担額 = 15万円

選考方法 = 一次選考（筆記試験）…5月22日（土）

二次選考（面接）…6月1日（火）・2日（水）

受講説明会

日時 = 5月15日（土）午後2時～

場所 = NAViS

受講および受講説明会の申し込みなど詳しくは、

NAViS ☎ 022(298)3700、

http://www.navis.co.jp/へ

お問い合わせ

情報産業振興室

☎ 022(211)2479

http://www.pref.miyagi.jp/jyoho-i/

（インターネット・メール）
gtyosas@pref.miyagi.jp
http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/
☎ 022(211)3592

「みやぎ県議会だよつ
は、年四回定期会」
と正に発行しています。
お近くの各市町村窓口（行政サービスセンターなど）や郵便局、公共施設などに備えつけられていますので、どうぞ利用ください。



（インターネット・メール）
gtyosas@pref.miyagi.jp
http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/
☎ 022(211)3592

（インターネット・メール）
gtyosas@pref.miyagi.jp
http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/
☎ 022(211)3592

県議会から

一月定例会のあります

一月定例会は、一月十八日から三月十六日までの二十八日間の会期で開催されました。宮城県議会は戦後、地方自治法が施行されてから今定例会で第三百回目の定例会となり、「議場」「ヒンサー（オペラ）」「西澤潤一名著県民による講演」などの記念式典が開催されました。なお、平成十六年度の当初予算、代表質問一般質問・予算特別委員会総括質疑、決議発議、意見書、請願などについて、「みやぎ県議会だよつ」と正に発行しています。

（第六十九号（五月月中旬開催）に詳しく述べてあります。

されました。

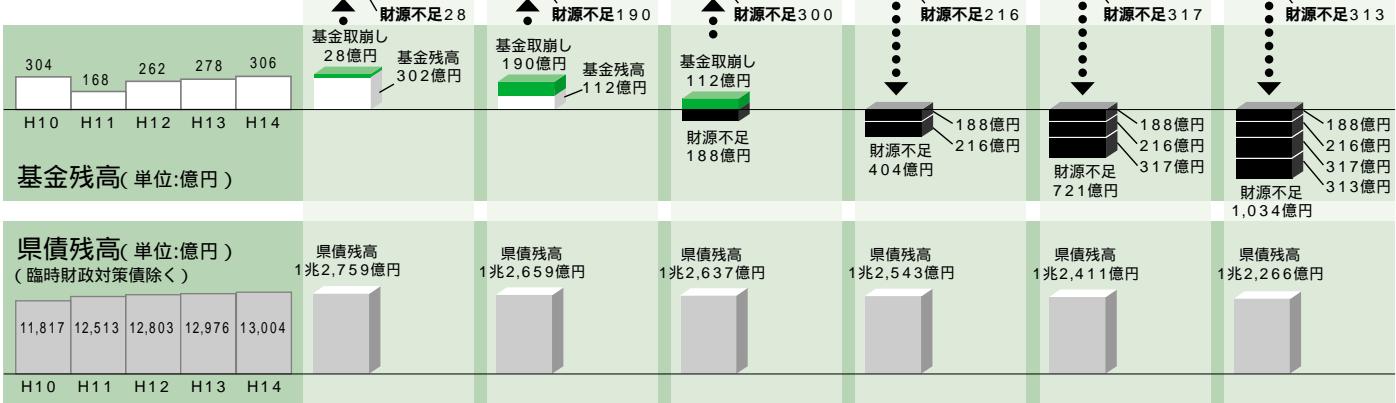
中期的な財政見通し

（名目経済成長率 年0.5%、単位:億円）

1.一般会計ベース

2.歳入中の特例的な県債とは、地方交付税の減額による財源不足を補う臨時財政対策債、自主的な財政再建に取り組む地方自治体に認められる財政健全化債などをいいます。

3.基金残高は、財政調整基金、地域整備推進基金、国際化基盤整備推進基金、県債管理基金（一般分）の4つの基金の合計額で、その年度の積立額を含みます。





江戸時代の蚕供養碑
(丸森町青葉・熊野神社)
現在、丸森町は繭の生産県内一を誇る。最近では絹繊維と桑繊維を原料とした「シルク和紙」が開発された。



斜面につくられた
丸森町大張沢尻の棚田
この棚田は「日本の棚田百選」に認定
されている。



筆甫そば処「清流庵」

丸森町筆甫字中下 0224(76)2690
お食事 / 11:00 ~ 15:00 (土・日・祝祭日
のみ) 平日は10名以上で2日前までに予
約が必要です。
そば打ち体験 / 10:00 ~ 15:00 (火・土
のみ) 6名以上で1週間前までに予約が
必要です。
定休日 / 月曜日、祝祭日の場合は翌日

毎年5月、丸森町役場前で開催される「丸森いち」では、山野草や、わら・竹細工などの地場産品が販売され、宮城県南はもとより福島県などからの買い物客でにぎわう。
(今年は5月8日[土]・9日[日]開催予定)



筆甫山品栽培生産組合の「ひっぽ手打ちそば部会」は、かつて桑畑だった農地を利用しソバの栽培を開始。その後、本格手打ちの「筆甫そば処清流庵」をオープンさせた。そして、この4月新たに「そば打ち体験学習館」がオープンした。



The map illustrates the route from Marusen Station to the Arutori River. It shows the Arutori River flowing through the area, with the Arutori Kikyoku Expressway (Arutori River Expressway) running parallel to it. Key landmarks include Mount Ochiai (大張山), Mount Iwafuji (岩岳), Mount Fubuki (筆甫), Mount Ochiai (おちあい山跡), Mount Iwafuji (岩岳跡), and Mount Ochiai (おちあい山). The map also indicates the location of Marusen Station (丸森駅) and the town of Marusen (丸森町). The Arutori River (阿武隈川) is shown flowing through the valley.

新金
第二回
「絹の道」
丸森町筆甫

新企画
第一回

松坂峠に咲いていた
ヒトリシズカ

丸森町筆甫と福島県伊達郡とを
結ぶ道は、ほどんどが峠越えである。

室町時代の筆甫は、伊達郡梁川や
桑折現福島県などを本拠とする伊
達氏の支配地だった。そのため伊達政

筆甫が伊具郡に属するようになつたのは慶長五年（一六〇〇年）に伊達政宗が当時上杉領になつていたこの地を攻略して以来のことと思われる。

「伊達の梁川お蚕どじん」と唄われた梁川から、藩政期に丸森に養蚕が導入されたようだ。明治期になると、丸森町金山に宮城県内初の本格的製糸工場が創業されて町がにぎわう」とになる。

松坂峠に至る道は明治時代に改修され、その後「松坂通り梁川街道」（現在の県道平松梁川線）が整備された。しかし、昔と変わらず道幅は狭くカーブの連続だったようだ。昭和三十年代にはバスも開通したが、阿武隈川沿いに梁川と丸森とを結ぶ国道349号が整備されるとそのバスもやがて廃止になる。こうしてかつての古道や峠の価値は薄れてしまつたようだけ見えて、しかし、松坂峠（上の写真など）は、かつて馬の背に揺られて絹が行き来した雰囲気はしづかに残されている。

県からのお知らせ



平成16年度みやぎ女性人材開発セミナー受講生募集

政策・方針決定の場で活躍できる女性を育成するセミナーを開催します。
募集期限 = 5月14日(金)まで(必着)
応募方法 = 所定の申込書に、「私と男女共同参画社会」をテーマにした小論文(1,000~1,200字)を添えて、県男女共同参画推進課(〒980-8570住所不要)へ
選考 = 書類選考、面接

問 県男女共同参画推進課

☎ 022(211)2568

「蔵王清掃登山」参加者募集

宮城蔵王(お釜周辺)で清掃活動をしてみませんか。
対象 = 県内在住の方(個人または3人以内の小グループ)
日時 = 6月6日(日)午前7時40分県庁集合
場所 = 蔵王(刈田岳・熊野岳)
募集人数 = 100人(応募多数の場合、抽選)
参加費 = 無料(昼食持参)
申し込み = 5月17日(月)までに(必着)往復はがきの往信面に参加者全員の住所、氏名、年齢、代表者の電話番号を、返信面に代表者のあて先を記入し、県観光課(〒980-8570住所不要)へ
問 県観光課
☎ 022(211)2823

在職者向け技術講習会

コース =
 ①ビジュアルベーシック6.0基礎
 ②ビジュアルベーシック6.0統・基礎
 ③工事担任者デジタル第1種「基礎(電気回路)」
 期日 = ①6月5日(土)~6日(日)
 ②③6月12日(土)~13日(日)
 場所 = 白石高等技術専門校
 受講料 = 無料(教科書代別途)
 申し込み = 5月14日(金)まで(消印有効)に、往復はがきに希望コース、住所、氏名、生年月日、電話番号、勤務先、受講を希望する理由を明記し、同校(〒989-1102白石市白川津田字新寺前5-1)(応募多数の場合、抽選)

問 白石高等技術専門校

☎ 0224(35)1511

<http://www.shiroishi.ac.jp/>

男女共同参画イラスト・まんがコンクール作品募集

日常生活の中で、男女共同参画にまつわる「おかしい、変だ」と感じていることなどを作品にしてください。
募集期限 = 6月30日(水)まで(必着)
応募資格 = 県内に在住・通勤・通学している方
応募規定 = A4判。技法・画材自由
応募方法 = 作品の裏面にタイトル、コメント(100字以内)、氏名、郵便番号、住所、電話番号、年齢、職業(学校名)を記入し、県男女共同参画推進課(〒980-8570住所不要)へ
問 県男女共同参画推進課
☎ 022(211)2568

県営住宅入居者募集

対象 = 県内の県営住宅空き住居
受付期間 = 5月7日(金)~13日(木)
申し込み = 専用の申込用紙で郵送(5月13日(木)の消印有効)
案内書 = 5月6日(木)から建築住宅センター、県営住宅所在の各市区町村の担当課、各地方振興事務所、各公共職業安定所で配布
問 財宮城県建築住宅センター
☎ 022(224)0014
24時間テレホンサービス
☎ 022(213)1861
<http://www.mkj.or.jp>
問 県住宅課
☎ 022(211)3252

点訳・朗読奉仕員養成講座

日時 = ①点訳...6月~平成17年3月の毎週木曜日②朗読...同一期間の毎週水曜日(いずれも午後1時~3時)
会場 = 県点字図書館
定員 = 各20人(選考あり)
申し込み = 5月14日(金)までに、往復はがきで県点字図書館(〒980-0011仙台市青葉区上杉6丁目5-1)へ
問 県点字図書館
☎ 022(234)4047

みやぎ県民大学講座 受講者募集

県民大学のさまざまな講座を受講してみませんか。「みやぎ県民大学講座一覧表」をお送りします。
開設機関 = 高校、大学、専門施設、NPO団体など(60講座程度)
内容 = 一般教養や専門的な内容で、各開設機関により異なります
申し込み = 県生涯学習課☎ 022(211)3652へ

宮城県職員採用試験

平成16年度 試験日程

試験の種類	申込受付期間(消印有効)	第1次試験	試験地	第2次試験	試験地	最終合格発表
大学卒業程度	5月14日(金)~6月4日(金)	6月27日(日)	仙台(仙南高校・県立農業高校 東京(弘済会館)	7月下旬	仙台 東京	8月中旬
短期大学卒業程度 高等学校卒業程度	8月13日(金)~9月3日(金)	9月26日(日)	仙台	10月下旬~11月上旬	仙台	11月中旬
警察官A (大卒/男性・女性)	5月21日(金)~6月18日(金)	7月11日(日)	仙台	8月上旬	仙台	8月下旬
警察官B (大卒以外/男性・女性)	7月30日(金)~8月27日(金)	9月19日(日)	仙台	10月中旬	仙台	11月中旬

採用試験の詳しい内容(職種、受験資格、採用予定人員等)は、それぞれの試験案内をご覧ください。
試験案内(受験申込書)は、5月6日ごろから県庁17階人事委員会事務局や1階総合案内などで配布します。

試験案内配布場所

県人事委員会事務局(県庁17階) 県庁総合案内(県庁1階) 各地方振興事務所総務班(県各合同庁舎内) 県警察本部警務課(022-204606)および県内各警察署 県東京事務所(東京都千代田区平河町263都道府県会館12階 03(5212)9045)など

郵便で請求する場合

封筒の表に「試験申込書請求」と朱書きし、あて先を明記した返信用封筒(角2封筒・大学卒業程度試験200円、それ以外の試験140円切手貼付)を同封の上、県人事委員会事務局(〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1)へお送りください。

県業務・採用試験説明会(主に大学卒業程度試験、警察官A試験対象)を5月11日(火)午後1時30分から県庁2階講堂で行います。ぜひお越しください。

問 県人事委員会事務局職員課 ☎ 022(211)3761
<http://www.pref.miyagi.jp/zinshiinkai/>

県の情報は携帯端末の「ポケットみやぎ」で、お知らせはモード「テレモ」情報 Vodafone live!・EZ-web「テレモ自治体情報」でもご覧いただけます。

ファミリーキャンプ奥松島

内容 = 野外活動体験
期日 = 7月3日(土)~4日(日)
場所 = 松島野外活動センター
対象 = 親子45組(150人程度)
経費 = 1人3,000円
申し込み = 6月3日(木)までに、はがきに住所、電話番号、申込者全員の氏名、年齢を明記し、松島野外活動センター(〒981-0411住所不要)(はがき1枚で1家族まで)応募多数の場合、抽選
問 松島野外活動センター
☎ 022(88)2337

催し

みやぎ自然環境センター 養成講座

自然体験や自然観察、森林の手入れなどの体験講座を全10回開催します。

第1回【植物と夏鳥の観察】

集合日時・場所 = 5月30日(日)午前9時30分

に県民の森(利府町)集合

募集 = 30人(先着順、参加無料)

第2回【蔵王の大自然を満喫】

集合日時・場所 = 6月6日(日)午前8時30分

に仙台駅前集合

募集 = 50人(先着順、参加無料)

申し込み = 各開催日の10日前までに、往復はがきに希望受講日(複数可)、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、を明記し、宮城県森林インストラクター協会事務局(〒981-0121利府町神谷沢字菅野沢41)へ

子育てセンター養成講座 受講生募集

内容 = 子どもの発達と心理、親子遊び、カウンセリング演習など

日程 = 6月24日(木)~10月21日(木)までの期間に5回開催(午前10時~午後4時)

会場 = 宮城県婦人会館

対象 = 子育て支援事業に興味のある方で、5回の研修をすべて受講できる方

定員 = 100名(応募多数の場合、抽選)

申し込み = 住所、氏名、連絡先を明記の上、5月31日(月)までに、往復はがきで県生涯学習課(〒980-8423住所不要)へ

詳しくは、各市町村等教育委員会で配布している資料をご覧ください。

問 県生涯学習課

☎ 022(211)3654

とっておきの音楽祭2004

障害のある人も一緒に、音楽を楽しんでみませんか。皆さんのご来場をお待ちしています。

日時 = 6月6日(日)

①各ステージ演奏...午前11時~午後5時

②フィナーレ...午後6時~8時

場所 = 仙台市市民広場、定禅寺通りほか

テレビガイド

仙台放送 たきたて!みやぎDON

第3土曜日(毎月)午後1時~1時25分
再放送 / 放送日の翌週火曜日

午前1時33分~午前1時58分

行政情報、県内各地の話題などホットで新鮮な情報を満載した、みやぎの今を伝える情報誌感覚の番組です。(文字スーパー付き)

ダテナビ100選 レトロの街・石巻を訪ねて特集 水辺の生態系を守れ!バス・バスターズ旬のひと味 銀ザケ(志津川町)

宮城テレビ放送

みやぎ情報クルーズ ~ミューン~

毎週木曜日

午後9時55分~9時58分

県からのお知らせを分かりやすく

楽しくお伝えします。(文字スーパー付き)

見てね!
番組キャラクター
ミューン

県の施設の催しガイド

カルチャーキラブ

宮城県図書館 ☎ 022(377)8441

ビデオ上映会

内容 = ドキュメンタリー「葫蘆島大遠返」

期間 = 5月23日(日)まで開催

特別展観覧料 = 一般500円、大学生300円

小・中学生、高校生は無料

【今月の休館日】

月曜日(10日、17日、24日、31日)

東北歴史博物館 ☎ 022(368)0101

特別展「新収蔵品展」

内容 = 未公開の収蔵品の中から、優品を厳選し展示

期間 = 6月20日(日)まで開催

場所 = 特別展示室

観覧料 = 一般・大学生500円

高校生300円、小・中学生200円

【今月の休館日】

月曜日(10日、17日、24日、31日)

内容 = ストリート演奏、フィナーレ、授産製品の販売、フリーマーケットなど

問 県障害福祉課

☎ 022(211)2539

相談



不妊専門相談センター開設

県では、専門の医師やカウンセラーによる不妊専門相談センターを5月から開設(国立大学法人東北大大学病院内)します。
日時 = 毎週木曜日の午後3時~5時
面接相談の申し込み、電話相談は
☎ 022(728)5225へ
問 県子ども家庭課
☎ 022(211)2633

民事介入暴力相談所開設

県からのお知らせ

ご案内



自動車税の納付はお早めに！

今年の自動車税の納期限は5月31日(月)です。期限までに忘れず納付しましょう。期限までに納付が困難な方は、お早めにご相談ください。また、自動車税の納税通知書に付いている納税証明書は、車検を受ける際に必要ですので、大切に保管してください。なお、納税通知書の発送は、5月13日(木)の予定です。

問 県税務課
☎ 022(211)2326
問 各県税事務所

「みやぎ政策の風」創刊

県では、政策情報誌「みやぎ政策の風」を創刊しました(部数限定)
内容 = ①緊急特集「危機管理体制～宮城県沖地震に備えて～」
②寺島実郎氏と知事の対談「国家の存立と地方の自立」
③リレー連載「福祉...堀田力氏、環境...寄本勝美氏、教育...苅谷剛彦氏など」
④自治体職員による政策提案
価格 = 490円(送料別)

申し込み = 県政情報センター ☎ 022(211)2263へ
問 県政策課
☎ 022(211)2408

物品等競争入札 参加者登録申請受付

対象者 = 新規と平成13年7月1日登録業者
登録日 = 5月31日(月)までの申請は、7月1日登録になります。

みやぎ元気人 読み聞かせボランティアグループ
「おはなしポケット」 (栗駒町)

「...そこに大きなものが、どんどんふらこ、どんどんふらこと...」。子どもたちの表情から、絶妙な語り口で臨場感あふれる話に引き込まれている様子がよく分かりますね。「おはなしポケット」の皆さんには「絵本が好きで、子どもと一緒に楽しみたい」と、公民館でのおはなし会を開催しているほか、幼稚園や小学校等にも出張しています。(な)

みやぎの人口
平成16年3月1日現在

県推計人口
2,371,608人

提出場所 = 県出納局契約課
申請用紙 = ①新規...出納局契約課で配布、またはホームページからダウンロード
②更新...事前に対象者へ送付

問 県出納局契約課
☎ 022(211)3333
<http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/>

障害者雇用促進企業 登録申請受付

県では、物品・役務の調達に当たり「障害者雇用促進企業」から優先して調達する制度を実施しています。申請には、物品等競争入札参加者登録が必要です。
対象者 = 新規と平成15年7月1日登録業者
登録日 = 5月31日(月)までの申請は、7月1日登録になります。

提出場所 = 県出納局契約課
申請用紙 = 出納局契約課で随时配布、またはホームページからダウンロード

問 県出納局契約課
☎ 022(211)3333
<http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/>

ピンクちらし根絶活動の 促進に関する条例の一部が 改正されます

「宮城県ピンクちらし根絶活動の促進に関する条例」の一部が改正され、5月1日から施行されます。

改正内容 = ①「ピンクちらし」の定義の明確化②禁止行為(ピンクちらしのまき散らしや、まき散らす目的でのピンクちらしの所持・携帯など)に対する罰則規定の追加

問 県生活・文化課
☎ 022(211)2526
<http://www.pref.miyagi.jp/seibun/>

試験

平成17年度宮城県・仙台市 公立学校教員採用候補者 選考試験

資格 = 受験しようとする校種・教科の免許を所有する方(取得見込みの方を含む)

1次試験 = 7月27日(火)~28日(水)

2次試験 = 9月15日(水)~17日(金)

願書提出 = 5月31日(月)~6月9日(水)まで(当日消印有効)に、県教職員課へ

願書 = 県教職員課、仙台市教職員課、県庁総合案内、各教育事務所で配布。または、あて先を明記した返信用封筒(角2号、160円切手貼付)を同封し、県教職員課(〒980-8423住所不要)もしくは市教職員課(〒980-8671住所不要)へ請求

提出場所 = 県教職員課
☎ 022(211)3632~3

平成16年度大学入学資格検定

【第1回】

検定日 = 8月5日(木)~6日(金)

場所 = 宮城県工業高等学校

出願期間 = 5月17日(月)~28日(金)

【第2回】

検定日 = 11月20日(土)~21日(日)

場所 = 宮城県仙台南高等学校

出願期間 = 9月13日(月)~27日(月)

出願方法など詳しくは、文部科学省
☎ 03(5253)4111(内2024・2643)へ

問 県高校教育課

☎ 022(211)3623

ラジオガイド

TBCラジオ 県からのお知らせ

金曜日 午後3時59分~4時 1260kHz

TBCラジオ ラジオ県民だより

土曜日 午前10時25分~10時30分 1260kHz

Date FM アラウンドザミヤギ

月~金曜日 午前10時35分~10時39分 77.1MHz

視覚に障害がある方のために点字またはカセットテープによる県政だよりをお届けします。財團法人宮城県視覚障害者福祉協会 ☎ 022(257)2022

対象 = ①②⑤どなたでも受講できます

③④介護に従事する方

申し込み = 県介護研修センター(鹿島台町) ☎ 022(56)9608へ

環境産業新技術等事業費 補助金対象事業の募集

産業廃棄物の発生抑制・リサイクル関連の新技術開発や再生資源を利用した製品開発などに対して、事業費の一部を補助します。

詳しくは、ホームページをご覧いただ
くか、下記へお問い合わせください。

問 県資源循環推進課
☎ 022(211)2657

<http://www.pref.miyagi.jp/sigen/>

平成16年度製菓衛生師試験

試験日 = 7月23日(金)

場所 = 宮城県自治会館

対象 = 義務教育終了後、製菓衛生師養成施設で1年以上知識や技能を修得した方、または2年以上菓子製造業に従事した方

願書受付 = 5月24日(月)~6月4日(金)

受験手数料 = 9,400円

問 県各保健所・支所

問 県食と暮らしの安全推進課

☎ 022(211)2643

調理師試験

受験資格 = 中学校卒業以上の方で、飲食店などの営業施設または給食施設で2年以上調理の業務に従事した方

試験日 = 8月3日(火)

場所 = 東北福祉大学

願書 = 5月10日(月)から県各保健福祉事務所・支所、県健康対策課で配布

願書受付 = 5月24日(月)~6月4日(金)

問 県健康対策課

☎ 022(211)2623

問 県各保健福祉事務所・支所

毒物劇物取扱者試験

種目 = 一般、農業用品目、特定品目

試験日 = 8月12日(木)

場所 = 宮城県自治会館、柴田農林高校、小牛田農林高校、迫櫻高校

受験手数料 = 10,500円

願書 = 県薬務課、県各保健所で配布

願書受付 = 5月6日(木)~31日(月)

問 県薬務課

☎ 022(211)2653

<http://www.pref.miyagi.jp/yakumu/>

募集

介護講座受講者募集

内容 = ①介護予防とニュースポーツ②福祉用具と住宅改修③排せつ関連のケアと福祉用具④さまざまな利用者・家族との接し方⑤一泊介護講座「ほっと一息・介護アラカルト」

日時 = ①5月24日(月)②5月25日(火)③5月27日(木)④5月28日(金)⑤5月29日(土)~30日(日)

バスに乗って県の施設や仕事を見学しながら、県政への关心と理解を深めていただく日帰り研修会です。

県庁発着

Aコース 6月2日(水) 森林(もり)をつくる
利府町憩の間・見学・植林作業体験
県民の森・矢本浜海縫地

Bコース 6月9日(水)みやぎの宝物～教育・研究・学びの場～
宮城県図書館・宮城大学・古川農業試験場・旧有備館

Cコース 6月15日(火)みやぎの宝物～自然と文化～
伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター・旧登米高等尋常小学校・
水沢県記念館

Dコース 6月30日(水)地震に対する今後の備え
住宅の地震対策講座・石巻工業高校・サン・ファン館、
防潮水門ほか

平成15年度に参加された方の応募はご遠慮願います。

問 県広報課 ☎ 980-8570 住所不要 ☎ 022-211-2285
Eメール kohkt@pref.miyagi.jp